

日本 ↔ スペイン 交歓演奏会

第49回 岐阜マンドリン・オーケストラ定期演奏会

- 岐阜マンドリン・オーケストラ 指揮／伊東尚生
- 佐藤芙美子と芙蓉会 《箏・演奏》
- 伊藤日出夫 (国際的フラメンコ・ギタリスト)
- バンドリア五重奏団 (モーツァルト・クインテット)



58年8月7日(日) PM 2:00 会場／岐阜市民会館大ホール

- 共催／岐阜マンドリン・オーケストラ, 岐阜日日新聞社, 岐阜放送
- 協賛／芙蓉会
- 後援／岐阜県教育委員会, 岐阜市教育委員会, 日本マンドリン連盟, 岐阜県ユネスコ協会

ごあいさつ

バンドリア五重奏団の皆様
ようこそ日本へ

日本マンドリン連盟会長

伊東 尚生



スペインでのみ発展をみた、マンドリンとは同族である、バンドリアという珍しい楽器の楽団をお迎えして、日本で初めてのその美しい音楽を拝聴出来ることは、誠に楽しいことでもあります。日本のマンドリン愛好者の皆さんにも喜んでいただけるのではないかと思います。

今や世界的な不況のなかを、スペインの多くの音楽団体の援助によって、遙か日本へお越し下さりまして、バンドリア音楽を私達のために演奏して下さいますベドゥロ・サントラヤさんを始め、五重奏団の皆様へ、心からの感謝と御礼を申し上げます。

ご挨拶

岐阜日日新聞社・岐阜放送

社長 杉山 幹夫



このたび、岐阜マンドリン・オーケストラの招きによりスペインから、バンドリアの五重奏団「モーツァルト・クインテット」が来岐、マンドリンとバンドリアの交歓演奏会を開催されますことは誠に喜ばしいことです。

あわせて岐阜マンドリン・オーケストラ定期演奏会が49回目を迎えられるす`確かな歩み、は改めて賞賛されることでもあります。

今回の演奏会も叙情あふれるスペインの民族楽器＝バンドリア五重奏団とフラメンコギター、それに芙蓉会のみなさんによる琴合奏も共演、多彩な顔ぶれは大いに期待されます。

岐阜マンドリン・オーケストラの一層の発展と、このたびの交歓演奏会の成功を願ってご挨拶と致します。



El Embajador de España

MENSAJE

Es para mí una gran satisfacción dirigir unas palabras de saludo al Quinteto Mozart, cuya venida a Japón testimonia de su bien merecido prestigio en recitales y conciertos dentro y fuera de España. Existen en Japón numerosas asociaciones de la guitarra y la mandolina y un público conocedor y entusiasta de la música española, lo que facilita los intercambios y permite actuaciones como la del Quinteto Mozart, al que deseo el mayor de los éxitos en su gira de cinco conciertos por Japón.

Eduardo Izquierdo y G. de Velasco
Embajador de España

Tokio, 18 de Julio de 1983

御挨拶

このたび、「Quinteto Mozart」に御挨拶を申し述べさせて頂けることは、大変光栄でございます。スペイン内外での演奏会に於ける此の楽団の名声と価値は素晴らしいものがあります。

日本には、非常に多くのギターやマンドリンのクラブがあり、その人達にスペイン音楽が愛好されています。ですから、Quinteto Mozartの演奏によって、日本の方々と交歓出来ますれば大変に喜ばしいことです。

最後に、彼らの日本滞在中の5回にわたるコンサートが、大成功裡に終りますよう祈っております。

スペイン大使
エドゥアルド・イバニエス
及び ジョ・デ・ヴェラスコ

東京 1983年7月18日

プログラム

I

岐阜マンドリン・オーケストラ
Gifu Mandolin Orchestra

指揮/伊東尚生
Conductor/Hisao Itoh

- 1. 踊る小花 武井守成
Danza del Fiore Morishige Takei
- 2. 北 夷 鈴木静一
Hokui Seiichi Suzuki
- 3. マンドリン・オーケストラと日本太鼓の「^こ近」 藤掛廣幸
"MEETING" of Mandolin Orchestra and Nippon-Taiko (初演) Hiroyuki Fujikake

休憩

II

箏合奏
KOTO-Ensemble

佐藤芙美子と芙蓉会
Fumiko Satoh and Members of "Fuyokai"

秋の韻^{ウツ} 宮城道雄
Echo in Autumn Michio Miyagi

休憩

プログラム

III

フラメンコ
Flamenco

I 伊藤日出夫 Jideo Itoh
II 藤本逸男 Itsuo Hujimoto

- 1. グラナダの夢 (ソロ) 伊藤日出夫
Sueno en Granada, Granadinas Jideo Itoh
- 2. 夢幻 (ソロ) 伊藤日出夫
Fantasie, Tarantas Jideo Itoh
- * 3. 月光 (二重奏) ソル
Moon Light, Etude Sor
- * 4. ノスタルヒア (二重奏) 伊藤日出夫
Nostalgia Jideo Itoh

※印はフラメンコ・二重奏

休憩

IV

バンドリア五重奏団「モーツァルト・クインテット」
Quinteto Mozart

- 1. お祝いのパバーナ ルセナ
Celebre Pavana E. Lucena
- 2. ヴァレンシヤのホタ フォルテア
Jota Valenciana D. Fortea
- 3. タンゴ タルレガ
Tango F. Tárrega
- 4. ギガンテスとカベズドス カバレロ
Gigantes y Cabezudos (Jota) M. F. Caballero

司会/坂東弘美(岐阜放送)

プロフィール

モーツァルト・クインテット (Quinteto Mozart)

- (1) 1966年に創設、毎年9月ログローニョで開催されている国際プレクトラム・フェスティバルに参加公演した。
- (2) その後毎年このフェスティバルに参加し、其の外、数々他のプレクトラム音楽祭に出演している。
- (3) イタリアの Brescia, Ferrara 及び Udine, フランスの Cibourne, ドイツの Ettingen を訪れて、プレクトラム楽器族のスペイン楽器を紹介した。
- (4) スペインでは Madrid, Barcelona, Zaragoza, Santander 其の他の都市、及びテレビで演奏をした。
- (5) このグループはアマチュアである為に、休日に演奏しなければならないので、あまり時間がない。この制限にも拘らず、プレクトラム音楽のために成果を挙げている。
- (6) 構成メンバーは次の通り

第1バンドリア Félix Codes
 第1バンドリア José Luis Apellaniz
 第2バンドリア José Luis Saenz
 ラウド Salvador Viana
 指導並にギター Pedro Santolaya



第1バンドリア 第1バンドリア 第2バンドリア ラウド ギター

プロフィール

伊藤日出夫 (フラメンコ・ギター)

- 1932年 京都に生れる。中学時代よりクラシック・ギターを独学、後フラメンコに転向
- 1953年 11月、京都にて第1回のリサイタル。
- 1954年 6月、神戸にて第2回のリサイタル。10月、東京帝劇にてデビュー（河上鈴子の伴奏）。その後パレ音楽の担当。関西を中心にテレビ、ラジオ、リサイタルに活躍。
- 1955年 上京、ギター三重奏団、歌や舞踏を含めたクワドロ・フラメンコを結成、レコード、ソノシート、教則本、ギター曲集等を多角的に活動。高橋功、見砂直照に認められ、東京キューバン・ボーイズのゲストとして各地を巡演。
- 1962年 スペインへ留学。帰国後さらに全国に公演を続ける。
- 1965年 全国各地にてリサイタル。フラメンコ・ギター合奏団結成。
- 1966年 第1回フラメンコ・ギター・コンクール主宰。サラ・レサーナと共演。
- 1967年 第2回フラメンコ・ギター・コンクール。中央、地方共にリサイタル多数（各地労音）。ビクター・コロムビアその他各社よりLP発売、ダビッド・モレーノと共演など、この頃より彼自身の個性に溢れたアレンジによって、ポピュラー、中南米音楽、日本音楽をとりあげ、一種独特の伊藤節とも云われるロマンチック・ギターのジャンルをひらいた。第1回沖繩公演、後進の指導にも力を入れる。
- 1968年 2度目のスペイン訪問は長期間にわたり、スペイン各地でのリサイタルやラジオ、テレビに出演する。各地労音にてホセ・ミゲル、長嶺ヤス子とのジョイントリサイタルを2年間続ける。
- 1969年 帰国記念リサイタル（虎ノ門ホール）。第2回沖繩公演。東芝でLP発売。
- 1971年 3度目の渡欧。パリ、スペイン、メキシコ、ハワイ等で演奏旅行。その他アメリカ各地で活躍、帰国後中国、四国を主に演奏旅行。
- 1973年 虎ノ門ホールでリサイタル。各地にてコンサート（民音）。
- 1975年 リサイタル（文京公会堂・民音主催）。藤蔭静枝舞踊公演の作曲とギターを担当。
- 1976年 3ヶ月に亘りスペイン演奏旅行。リサイタル（ヤクルトホール）。マリオ・エスクデーロと共演。今井久仁恵リサイタルに出演。フラメンコ・ギター合奏団のコンサートを各地で開催。
- 1978年 台北、国立劇場中山堂にてリサイタル。
- 1979年 ギター生活25周年リサイタル（中央会館）。
- 1980年 合奏団15周年記念コンサート（文化庁芸術祭参加）。他各地にて演奏。
- 1981年 東京、横浜にてリサイタル（民音）。北海道、釧路新聞主催のリサイタル（釧路・根室）。
- 1982年 「伊藤日出夫ギター」を発売。各地にて演奏会。レコードLP十数枚・カセットテープ6巻・教則本2冊・曲集6冊（スペイン・アメリカ等を含む）。



藤本逸男 (フラメンコ・ギター)

宮崎県出身
 1971年5月 横浜にて渡辺綾子に師事。
 1976年より代教を始め、度々イギリス館にてジョイントコンサート「プロテス」公演。スペイン音楽を伊藤日出夫に師事。
 10月24～28日東京でデビューする若手ギタリストの逸材。



プロフィール

芙蓉会

- 1947年 佐藤美美子、芙蓉会を主宰。
年1回定期演奏。
- 1968年 名古屋フィルハーモニー交響楽団と共演。
- 1973年 文化庁助成、大阪フィルハーモニー交響楽団と共演。
- 1978年 西ドイツ音楽祭に岐阜マンドリン・オーケストラと共に参加。
ヨーロッパ5ヶ国にて演奏。
- 1982年 岐阜県教育委員会より、芸術文化活動等特別奨励賞受賞。
岐阜市音楽使節団としてフィレンツェ訪問。
岐阜マンドリン・オーケストラと共にヨーロッパ4ヶ国にて演奏。
現在ステージ、及びラジオ、テレビ等で演奏活動を行っている。

メンバー

- | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| ■ 胡弓 | 中井 猛 | | | |
| ■ 三 絃 | 佐藤美美子 | 土岐 兼子 | 佐藤美恵子 | |
| ■ 第一 箏 | 伊藤美喜子 | 佐藤千恵子 | 宮崎 広子 | 太田 靖子 |
| | 加藤紀美代 | 田中 百代 | 佐藤千鶴子 | 藤井百合子 |
| | 林 みゆき | 栗本 明美 | 押谷 広美 | 西岡 一子 |
| | 伏見由加里 | 保井 永 | 戸本 晴子 | 今井美智子 |
| ■ 第二 箏 | 竹内 洋子 | 岩田喜美子 | 糸尾 久子 | 渡辺 豊子 |
| | 大前早智子 | 久保多美江 | 市村 良子 | 酒光 敬子 |
| | 平工 弥生 | 玉木美穂子 | 川口留理加 | 中村 祐子 |
| | 小椋 美穂 | 新川 京子 | 土屋 恭代 | |
| ■ 十七 絃 | 桑原 恵子 | 林 芳子 | 小田 容子 | 遠松 栄子 |
| ■ 打 物 | 浅野寿美子 | | | |



プロフィール

安岐太鼓保存会 (中津川市阿木4344 TEL<05736>3-2010)

団体の由来、歴史

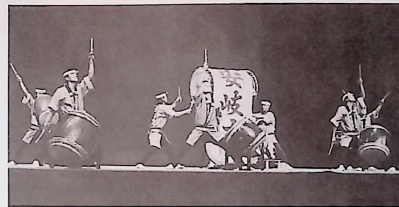
起源は150年前、文政年間に起った凶作に村の風神々社に奉納したのが始まりとされるが定かでない。現在の保存会は、昭和44年、郷土芸能の伝承、青少年育成、ふるさとの村造り、の目的で復活されたものである。

構成、演奏法

安岐太鼓の曲は復式復打法と呼ばれ4人以上で行なう。道具は、大太鼓1、長桐4、シメ太鼓、ハヤシ太鼓各1、それに、チャップ、打金、ドラ、ひょうたん等も曲によっては使用する。特徴はオーケストラ調で有り、速いリズムの曲が多い。

今後の方針

日本の太鼓を芸能としてでは無く、太鼓音楽、太鼓道として見、後継者、青少年の育成を行い、現代に合った若者に共感を得る団体、曲を作って行きたい。



出演メンバー

1. 伊藤 文 利
2. 加藤 孝 光
3. 加藤 千 草
4. 今井 浩 二
5. 今井 博 美
6. 今井 元 義
7. 秋 山 真 一

やすらぎのひときは……………

コーヒーショップ リリー

岐阜市若宮町7丁目
TEL <0582> 64-2057

栄 壽 司

岐阜市弥八(地藏西を北へ入る)
TEL 0582-62-3058

岐阜市
岐大バイパス六条交差点角
☎〇五八二一七四一〇二八八

古式手造り
文の豆
美のんが家
文の豆
み庵

American Drop

年中無休・営業時間AM10:00-AM0:00
岐阜市六条大溝1-16-11 ☎0582-74-0289

プロフィール

岐阜マンドリン・オーケストラ

指揮/伊東尚生

1. 昭和29年(1954)12月 設立。
2. 昭和49年(1974)5月、ドイツ・マンドリン連盟の招きにより、ベルリンに於ける国際マンドリン・フェスティバルに参加した。ついでにスイス、イタリアで演奏。
3. 昭和51年(1976)9月、豊田喜一郎芸術賞を受賞。
4. 昭和53年(1978)4～5月、第2回欧州演奏旅行を、佐藤英美子女史並に芙蓉会と共に、ボンに於ける国際マンドリン・フェスティバルに参加。ついでにオランダ、オーストリア、ドイツ(ボン)の外、イタリアで演奏。
5. 昭和54年(1979)7月、デンマークの青少年マンドリン・ギター・オーケストラを連れて交歓演奏会。
6. 昭和55年(1980)3月、岐阜県教育委員会より特別奨励賞を受賞。
7. 昭和56年(1981)8月、ドイツ、オーストリアの楽団を迎え、日本で初めての国際マンドリン・フェスティバルを行った。
8. 昭和57年(1982)6月、第3回欧州交歓演奏旅行(等と共に)を行い、イギリス、スペインの他にマンハイムに於ける国際マンドリン・フェスティバルに参加した。尚、イタリアでは岐阜市よりの初めての音楽使節団として、フィレンツェでも交歓演奏をした。
9. 各施設の慰問演奏、テレビ、ラジオ等の出演を賑々行う。
10. レコードを6枚製作した。

メンバー

第1マンドリン	第2マンドリン	マンドラ	ギター
池田 宏	葛谷 奈穂	田島 尚	伊藤 正純
川島 義美	牛屋 宣子	相川 洋子	村瀬 隆夫
西川 京子	丸山 和代	山本 嘉彦	伊藤 啓次
吉元 幸樹	斉藤 多美子	沢田 裕司	高橋 真弓
宮居 就美	常川 かおる (打楽器兼)	渡辺 育子	安田 美雪
新 戸 真知子		堀 素子	平田 安弘
光崎 由美子	富田 幸子		中島 忠男
伊藤 昌子	太田 久仁子		西沢 康成
川田 弘子	田鎖 賢彦		岩田 時彦
			八並 由紀子
マンドロン・チェロ	コントラバス	ピアノ・エレクトーン	和太鼓
宮地 恭一	宮川 訓男	青谷 美恵子	伊藤 文利
近藤 修平	本田 健二		加藤 孝光
林 良三		ティンパニー	加藤 千草
井 深 和 弘		杉 浦 里 恵	今井 博美
			今井 元義
			秋山 真一

岐阜西別院御用達

中島佛壇店

岐阜市京町3丁目(市民会館裏)
電話 <0582> 63 - 5545 番
〒 500

車検サービスシステム

「モノレール1日車検」

日の丸興業株式会社

コンピューターによる

「電話番号配車システム」

日の丸自動車株式会社

ダブルで健康

ロイヤルプラスE

ロイヤルプラスEは、天然ビタミンEと生ローヤルゼリーがひとつのカプセルに入った飲みやすい健康食品です。天然ビタミンEと生ローヤルゼリーは、単独でも素晴らしい効用で注目を浴びているものです。この2つをいっしょにしたロイヤルプラスEは、森永が自信をもっておとどける中年以後の方のための健康食品です。



標準小売価格
8,800円
(120粒入)

毎日の健康維持・栄養補給にぜひお試しください。

<ロイヤルプラスE>

発売元 森永乳業株式会社
〒108 東京都港区芝5-33-1

製造元 日本養蜂株式会社
〒500 岐阜市加納富士町1-2

※ご購入の申し込みは、森永乳業株式会社各支店へ TEL 052-936-1521